

◇ 九州の山・雲仙普賢岳・多良岳・背振岳・平治岳・英彦山

2014年6月7日(土)～10日(火)

参加者：嶋原L、Iさん、山城(記) 計3名

6月7日(土) 長崎・雲仙普賢岳(1359m) 晴れ

前日6日(金) 新大阪を17時に出発し翌7日未明3時仁田峠着、『高原ツツジ公園』でテント設営し快適に仮眠。公園内のミヤマキリシマは咲き終わりキリシマツツジに替わる。

仁田峠駐車場への途中に『平成新山』の展望台があって日常で見る事の無い活火山の脅威を眺めた。駐車場から登山道に入り。妙見岳を過ぎると溶岩や石積した山道になり国見岳へは九峻な登り、岩畳を立て掛けたような大岩にぎょっ！ 岩場に咲く可憐な花々に癒されながら登る。

山頂からすぐ真向かいに平成新山の姿があった。まるでこっちを見てみたいに。



(普賢岳から平成新山)

【駐車場 9:15—妙見岳 9:50—国見岳—11:45 普賢岳—紅葉茶屋—妙見神社—駐車場 13:30

4時間 15分】

6月8日(日) 多良岳(983m)・背振岳(1055m) 晴れ

昨夕17時中山キャンプ場着、無人状態です。



(多良岳と右が経ヶ岳)

昨夜はぐっすり眠れて今朝は4時起きでも快適。登山口5:45、広い樹林のなか踏み跡を進む。坂になり水分補給したいと思ってたら水場があり『幸福坂』と書いてあった。

次に石積み坂で『夫婦坂』となっていた。稜線には行基の金泉寺、右に多良岳、十六羅漢、梵字岩多良岳権現 太良嶽神社、前岳、ここは山岳修練の山です。岩場のピークと超やせ尾根が幾つか続く花もベニドウダン、キリシマツツジと岩間に咲く。

山腹には見上げるような岩壁に掘られた六体のお地藏様など拝する。当時の修業に思い馳せる。バリエーション豊かな山歩きでした。

【テン場 5:45—6:55 金泉寺—多良岳 8:00—前岳 8:30—六体地藏 8:45—10:00 テン場着 4時間】

背振山は航空自衛隊の分屯地だった。フェンス横の道が山頂に(背振神社上の宮)つながっていた。近くに大きな『対空レーダー』が設置されていて、ここから日本海の安全を見守っている。色々ありますから.....。

6月9日(月) 平治岳(1642.8m) 晴れのち曇り

黒岳の山麓にある名水100選『男池湧水』駐車場には前夜17時に到着。ミヤマキリシマの見頃とあって登山者も多くツアーのバスも2台、車3~40台。

駐車場5:45出る。男池湧水を見に行く。ぼこぼこ湧いている湧水量は1日2万トンと書いてある。自然林の散策路もある。登山口(6:05)しかし登山道は泥道多くニュー登山靴なのに容赦なくべったり泥が付く。石積みの山道になり少しましかと思っただが難路はましてくる。登ること55分ソバ



(平治岳のミヤマキリシマ)

バツケに到着(開けた湿地帯)ここで一服。この分岐から平治岳登山道に入る。勾配の増した黒い泥土の登山道をひたすら登り続ける....突如! トンネルを抜けたように急に明るい台地『大戸越』に

飛び出たわあ〜っ凄い！ なんと山ごとピンク色。きゃあ〜、ひや〜とか感嘆の声しか出ない。言葉は不要だった。

地元の年配の男性は ” 山が着物を着てるようでしょう ” と言われた。

【登山口 6:05-6:55 分岐-大戸越 8:30-平治岳山頂 10:00-11:55 登山口 5時間50分】

6月10日(火) 英彦山(1200m) 曇り~晴れ

別所公園駐車場(花見が岩公園) 6:30 から 20分程歩き登山口の参道へ。

立派な石段続く英彦山神社の参道から始まります。奏幣殿で参拝。此处から石段の先きが眼で追えない程に続きます。登る事約1時間でようやく山道らしくなり中津宮(920m)自然林のなか野鳥の森らしく鳥のさえずりも心地よく、サラサドウダンもツツジも沢山の花をつけている。ヘゴの小さな白い花がフラワーロードのように登山道を白くいっぱい飾っている。中岳~南岳辺りから鎖場も多く岩場の登り下りが続く。大南神社は大岩壁に囲まれ護摩壇もあり、やはり修験の山でした。

【奏幣殿 7:00-8:05 中津宮-8:50 中岳-9:15 南岳-大南神社 10:00-

10:55 谷下る-11:35 奏幣殿 4時間35分】

九州の山は急峻な岩山が多いようです。

今回も長崎、佐賀、大分、福岡と良く頑張った車に感謝、いいえ〜と運転下さった鳴様に感謝申し上げます。



平治岳のミヤマキリシマ2



平治岳のミヤマキリシマ3



平治岳のミヤマキリシマ4



平治岳山頂



平治岳のミヤマキリシマ



背振山山頂



男池湧水群



展望台からの平成新山